

■通常事業評価シート【R6年度実施事業／市民環境部八木市民センターによる自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学級講座等運営事業	生涯にわたる能力づくり が進められ、活かされて いる	市民相互の結びつきと自主的な学 習活動を支援するため、学級講座 等を運営する。	公民館登録団体への支援を行い、各種 講座を開催した。 (登録団体数46団体、定期講座5講 座、短期講座10講座、キッズルーム開 設38回)	4：大いに近づいた	継続	1,175	5,953	7,128	利用者の固定化	講座開催時間や内容を工夫する	
2	八木市民センター管 理事業（他課への一 部予算再配当事務）	みんなが主役の協働・連 携したまちづくりが行わ れている	八木市民センターの施設機能を保 持するため、施設を適切に管理す る。	2階テラスのウッドデッキの劣化が激 しいため撤去工事を行った。 また、公民館の貸館業務を行った（4～ 3月の申請件数2,738件）	3：おおむね近づいた	継続	16,866	7,405	24,271	いたすら等による施設破損	注意喚起の張り紙を行い、町会等と 連携して見回りを強化する	
3	八木市民センター管 理事務事業	持続可能で信頼される行 政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行す るため、庶務全般を効率的に行 う。	照会など庶務事務を遅滞なく処理し、 毎月のシフト管理表を供覧し、勤務管 理の適切に行った。	4：大いに近づいた	継続		10,896	10,896	勤務体制に由来する適切な職員配置	引き続き、シフト管理を徹底する。	
4	サービスセンター事 業	持続可能で信頼される行 政になっている	市民の利便性の向上を図るため、 市民の需要度の高い窓口業務を市 民センターで実施する。	照明発行等、関係課と調整し適正に実 施した。	3：おおむね近づいた	継続		9,726	9,726	取り扱い業務のスキルの共有	マニュアルを整理し全職員のレベル アップを図る	
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												